

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年6月17日

2003年6月15日現在：

6月15日に終わる1週間の気温は上昇し、最高気温は79～86度Fとなった。平均気温は平年を1～3度F上回った。降雨が散発的にあり、1週間の州平均農作業日数は、5.0日（前週：4.4日）であった。土壌水分は前週より多少下降したが、過去5年平均より良い状態を保った。

6月15日現在、硬質春小麦は97%の圃場にて出芽し（昨年同期：98%、平年：97%）、15%の小麦が穂孕み期に入り、1%で出穂した（昨年同期：1%、平年：3%）。デュラム小麦の播種は略完了し、95%の圃場で出芽した。デュラム小麦の23%が節間伸長期に入り（昨年同期：12%、平年：19%）、3%の圃場にて穂孕み期に入った。出穂した圃場は未だ無い。土壌水分の状態は平年より良いので、気温の上昇は小麦の生育の為に良い効果を生んだ。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	1	5	82	12
Last week (%)	0	6	81	13
Last year (%)	14	17	61	8
Average (%)	4	12	71	13

Subsoil

This week (%)	2	12	76	10
Last week (%)	4	13	71	12
Last year (%)	8	24	63	5
Average (%)	4	13	71	12

Average: 1998～2002年平均

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Durum				
Emerged (%)	95	80	93	92
Jointing (%)	23	11	12	19
Boot (%)	3	NA	3	4
Headed (%)	0	NA	0	0
HRS wheat				
Emerged (%)	97	93	98	97
Jointing (%)	46	25	35	44
Boot (%)	15	NA	8	13
Headed (%)	1	NA	1	3

次ページに続く。

小麦作柄状況：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Durum wheat (%)	0	1	21	70	8
HRS Wheat (%)	0	1	12	65	22

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com